（大正八年三月七日第三種郵便物認可）

六夕日刊

# 岩城時報

福島縣石城郡平町紺屋町十四
編輯兼發行人 岡田弘成
印刷所 福島縣石城郡平町紺屋町十四
印刷所 福島縣石城郡平町紺屋町十五
發行所 岩城時報社
一部金貳錢 一ヶ月金參拾錢
廣告料一行十四字詰金五十錢
△日刊（日曜、祭日）休刊

## 根本候補者來平

### 石城郡有權者を訪問

貴族院議員の補欠選擧期日は旬日に迫つたので政、民兩派とも猛烈な運動を續けてゐる事屢報の如くであるが、六日午前八時政友派の候補者根本祐太郎氏來平し午前中は平地方有權者を歷訪し午後は縣會議員古川傳一氏の案内で郡内の有權者を訪問し諒解を得る處があつたが、民政黨大島要三氏の勢力も侮り難いと見られてゐる。

## 三阪、澤渡 官林拂下げ

### 部落民大喜び

石城郡三坂、澤渡組合村に於て兇作に依る疲弊策として官行林の拂下を計劃し縣當局に之が實現方を陳情した事は既報の如くであるが、同方部は平均三分作といふ悲慘な收穫を見てゐる實狀に同情し縣山林課では平營林署と圖り官行林拂下げ實現について農林省に對し運動をなした結果同方部に於ける官行林拂下が許可になる事に決定を見た由で同方部は非常に喜んでゐる。

▲郡農會總會 石城郡農會總會は六日午前十時から平町元石城郡役所に開き左の諸件を協議したが、昭和四年度豫算は一萬三千百五十圓で前年度の一萬三千六十八圓より若干の増加である。

協議事項

▲昭和四年度豫算
▲昭和四年度事業方法
▲郡農會種豚證明規定制定の件
▲三德貝殼檢査規定制定の件
▲同會一般歲計現金及び基本金預入は福島縣農工銀行平支店とする件

▲平町出納檢査 平町の出納檢査は六日午前十時から平町役場で行つた。

## 地下採掘反對のため 鑛山監督局に運動

### 佐藤助役、町議等出仙

平町の地下採掘問題は過般仙臺鑛山監督局から技術官出張し平町郊外の區劃調査をおこなつた結果地下採掘をなしても地表には何等影響する所なしと採掘許可の方針らしいので反對側たる平町にては極度に狼狽し五日午前六時平驛發列車で平町佐藤助役、野崎町議外二氏が反對の陳情書を携へ仙臺鑛山監督局に出頭したが、大西局長不在のため鑛政課長並に鑛業課長に面會し反對の陳情をなして歸平した。

陳情書

平町の市街地並に郊外を實地調査された池知技師は市街地に對しては兎に角郊外は許可しても差支なへ口吻を漏らしてゐるが郊外に許可し市街地を許可しない事は採掘後の被害を豫知するからで採掘の被害を認めるなら市街と同樣の事業を營む郊外と雖も同樣である又池地技師は郊外を許可し採掘して被害ある樣な場合は監督官廳で適當の方法を講ずせしむるといつてゐるが、被害あつて後に對策を講ずるのは丁度人間が保健衛生を知らないと同樣で郊外を許可し市街地を許可しない理由の那邊にあるかは判斷に苦しむものである又池地技師は郊外を許可するから愼重審議の上絶對に許可しないで貰ひ度い

## 平署管内 火防檢査成績

平警察署に於ては去る一月二十八日、二十九日の兩日に亘り管内二十二ヶ町村に於て一齊に火防宣傳を行ひ消防組員が出動して火焚場の檢査を行つた結果を聞くに、出動した警察官の延人員九十名、消防手五百九十六名で、檢査の結果注意を與へた戸數九千四百六十七戸、說諭をした戸數七百九戸で注意の最も多かつたのは平町千三百六十三戸好間村八百六十三戸、内郷村七百八十二戸、小名濱町七百十二戸、豐間村五百九十二戸、湯本町五百四十七戸で說諭をしたのは磐崎村九十戸、湯本町七十三戸、内郷村八十七戸、江名町八十一戸等が多い方である。

▲機關手養成講習 石城郡小名濱町縣立水産試驗場に於ては來る十四日から來月六日まで三週間に亘り

一、機關の構造法
二、燃料取扱上の注意
三、機關運轉の實習その他

につき機關手講習會を開催するが講習生は縣内發動機船乘組者約四十五名の見込である。

## 後任植田町長候補に 古河、鷺兩縣議

### 赤津氏を推す人もある

石城郡植田町は目下町長が缺員ねばならない結果になるため一中なのでそれ〳〵候補者が物色日も早く後任町長を決すべしとされてゐるが、同町の町會議員の意見を聞つ者も大部多いが縣は十二名の中政・民六名づゝの議古川傳一氏が第一候補者に推爲め政黨を背景に持つ人物を町長に推す事は極めて困難な狀態にあり、ために後任町長の決定は來る六日の町議改選後になるれ難い狀勢にあるので元縣議でものと觀測されるに至る程であ現在は中立の立場にある赤津亦る、若し町議改選期まで決定を見ねば現小野助役は五月で任期が滿了するので、選擧執行その他に關して縣の事務管掌を受け

## 全國品評會で 優等に入選

### 鹽屋の花春

平町山崎合名會社で發賣してゐる銘酒花春は曩に縣下清酒品評會で最優等の榮冠を得名聲を博した事既報の如くであるが、今回八王子市に開かれた全國清酒品評會に出品し優等賞に入選した。全國品評會に於て福島縣の酒が優等賞を贈られたのは花春が初めてゞある。

▲堆肥講習會 高久村農會主催の堆肥肥料講話會並に堆肥の實地堆積指導會を十六日午後一時同村役場に開き神尾技師出張する筈で十七日は午後一時から同村塚崎實行組合總會を山口組合長宅に開き同じく神尾技師の講話があると。

## 哀れな一家

### 息子が入營したので生活の途を絶たる

平町久保町三番地小柳勇は此程野砲兵第三聯隊第八中隊に入營したが、入營後ブリキ商人をしてゐた實父が去る四日突然死亡した爲め、年老ひた實母は低腦の長女の外十五歲と十歲の女子を抱え生活に困つてゐるので久保町區民は同情し金品を惠與してゐるが、平在郷軍人分會でも同情し軍事救護願か又は現役免除の申請をしてやらうと奔走中である。

## カフエー女給 集金横領

### 平署に捕はる

平町四丁目カフエーボタン方女給小名濱町字本町生れ高橋タカ（二〇）は去る一月二十九日湯本町驛前旭屋カフエーに女給として雇はれてゐるうち依頼された集金二十一圓並にクローム側銀時計價格十一圓を横領して逃走し前記カフエーボタンに索知らぬ顏をしてゐる事發覺し五日平署に捕はれた。

## 海軍志願兵檢査

### 志願者は例年の二倍 財界不況のためか

石城郡の海軍志願兵檢査は六日七日の兩日平町元石城郡役所で擧行中であるが、志願者は例年の多數に達してゐる、之は打續く不況の結果就職難に惱まされるので出世の早途である海軍兵を志願する者が增加した爲めであらうと言はれてゐる、徵募官は機關中佐藤崎熙氏である。

## 徵募官 歡迎晩餐會

平町在郷軍人分會では六日午後六時から尼子亭に於て藤崎海軍中佐一行を招待し晩餐會を開くと。

## 自轉車に 自轉車衝突

平町二丁目尼子自動車部助手林實（二一）が五日午後二時十五分頃無免許で乘合自動車を運轉し四倉町に向ふ途中平町鎌田町草野染工場雇人渡邊喜一（十九）の自轉車と正面衝突をしたが自轉車を破損したのみで無事であつた。

## 賣上金を 拐帶逃走

### 二名の藥行商

平町字掻廻小路島澤次郎方藥行商人澤繁三（二一）同吉村義太郎（二二）の兩名は四日小名濱町に至り賣上げ金三十圓を横領して姿を晦ましたので訴へにより平署で行衛搜索中であるが、同人等は勿來町、窪田方面に逃走したらしいので搜索方を植田署に依頼した。

驚いた!!!
こうまで安いことは
平・加納活版所の印刷物

## 伸びゆく力

久野まさ子投

立春とは名ばかり、寒風吹き捲くり何處に春立つらしい趣きがあらう、それは唯暦の上に記された年中行事の一つに過ぎないのであらうか、いゝ加減に名題を附した作りごとに過ぎぬのであらうか。

□

イヤ決してさうとばかりはいへまい、はつきりと際だつて今日から春が立つといふことは無論いひ得まいが、この日を立春となし、この日の前後から春の陽氣が徐々に流れ初めるといふことはいひ得られぬことでなからう。とはいへ現在の萬物に春らしい陽氣の俤すらも見出し得るであらうか、萬象はこと〳〵く嚴冬の姿である。

□

けれどもその嚴冬の姿の中に春の生氣が浮動してゐぬであらうか、白皚々たる雪に蔽はれた地上に青い芽を伸びんとしつゝあるのでなからうか、イヤ凍結した表皮を一枚破つた地上にこそ、万物は今忙がしく春のいとなみを開始しつつあるのではなからうか。

□

樹木も皆、常盤木を除いては裸のまゝである、このまゝ永遠に枯死してしまふのではあるまいかと思はれるほど慘めな姿を露出してゐる、けれどもその固く閉んでゐる芽の中には、今まさに春の生命が滿たされつゝある、やがて古い殼を破つて新しく萠え出でんとする若い生命が勇ましい行進曲を奏しようとしつゝあるのではないか。

□

すべて内なる力の充實しつゝある時、それが大きなるものであればあるほど、外面に現るゝまでにヨリ長い時間とヨリ充分なる準備とを要するであらう。そしてそれが殆んど充實され終つても尚ほしばらくは、外部に何の現れをも示さぬであらう。その代りそれが一たび内から自ら發せらるる時、あらゆるものに打ち勝つて伸び行く力は眞に偉大である。

## 時報文藝

▽夜の静けさ　クローバー

薄桃色の下で彼女は何を書こうとして居るのか
ちつと便箋を見つめて居る
くしや〳〵に丸めた紙くずが
静かな室に散らばつてあつた
可愛そうにピッショリたもと
をぬらして
何か夢路をたどつてゐるらしい
折々目ぶたが惱ましげに小動きしてゐる。

平町紺屋町
吉田眼科醫院
電話六八番

## ハガキ集

—（投書歡迎）—

▲有聲座が少なからざる犧牲を拂つて泰西の名映畫を上映してくれる事は我々にとつては實に嬉しい。勿論僕は世に所謂藝術映畫を大に歡迎するが、又クラ、ボウあたりの超モダーンな映畫にもたまには接し度いとも思ふ。どうです「あれ」「フラ」「乱暴ロージー」「赤色」若しくは「戀人强奪」下つては「艦隊入港」の中どれか一つでも結構だから上映してくれる勇氣はありませんかな有聲座よ。（自稱バンクフト第二世）

二月六日ヨリ九日マデ
舊歲末福引大賣出し
先期間中非常ナル御引立ニ預リマシタソノ御禮トシテ、三日間延期致シマス、尚一層御愛顧ノ程ヲ……
三井呉服店

田町睦會聯合
歲末福引大賣出し
新二月一日より七日間
お買上金高壹圓毎に福引券一枚進呈
景品目種
一等　特別製桐簞笥
二等　桐（九升樽）醤油筒
三等　メリヤス
四等　シャツ
桐下駄
五等以下七等迄實用品が澤山ございますゼヒお買上げを
引換場所　福住旅館

舊十二月廿一日（一月廿一日）ヨリ
舊十二月廿八日（二月七日）マデ
八日間
四丁目聯合
福引景品付大賣出し
御買上一圓毎ニ福引券一枚呈上
景品引換場所　和泉屋旅館
景品引換時間　毎日午前九時ヨリ午後五時迄
景品種目　桐簞笥、反物其他山の如し

日掛金融通開始仕候
但し確實なる連帶借用の方に限る
合資會社　常磐興信所
平町三丁目

痔の高級内服薬
「ダイサン錠」
平五山野邊藥局

△共存共榮
△簡易ノ金融
△趣味ノ貯蓄
△醫學ト意識
磐城興業株式會社
△無盡ハ本所ニ申込ヲ下ニ時間ニ於テ取扱ヒマス
△絶エズ會員ヲ募リマス

胃腸
内科
專門
十二指腸虫病
淋病
婦人病
皮膚病
專門
松村病院
平南町
電話七〇一

聯合福引大賣出し
舊十二月二十五日より二十九日迄
新二月四日より八日迄
二丁目
（景品山の如し）
五日間

平壹丁目聯合
福引景品付大賣出し
平素御引立の御禮として福引景品付大廉賣
期間（二月一日（舊十二月廿二日）から二月七日（舊十二月廿八日）迄）七日間
御買上壹圓毎に福引券壹枚進呈
（卸賣は金五圓毎に壹枚）

景品目錄
一等　自轉車　二臺
特等　上重桐簞笥　二十本
二等　番外最上白米四斗入　二俵
上等　座布團五枚組　五十六本
三等　大手提引セト大火鉢　百本
四等　大バケツ　四百本
五等　大洗面器　四百本
六等　上等茶碗　殘全部
美賞　大廉賣品

生産者より需要者へ
——この値段でいかゞ!!!
白米一升二八錢から　醤油一升四八錢から
清酒一升八〇錢から　木炭雜丸正味四貫目
味噌一貫目五八錢から　一俵一圓
安くても品の好いのが當店の强み
例ひ一升、一合でも迅速に届けます
マルミヤ廉賣部
平驛通（八幡屋前）